

アスター

花言葉 | 追憶 / 信じる心

ドライな色とテクスチャーが今の気分
アイスクレーの涼しげなインテリアに

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 飾る際、無駄な葉は取り除いて通気性を良くします。
- 最初に咲く中心の花、枯れてきたら早めに摘み取りましょう。
- 夏場でも花持ちが良いですが、切り花栄養剤の使用で水が汚れにくくなり、さらに長く楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①スプレー状のアスター、アストランティア、ユーカリを小分けにカット、長いデルフィニウムも二分割し、水に浸かる部分の葉を取り除きます。
- ②ユーカリを最初に活け、メインにアスター、やや背景になるようにデルフィニウムをあしらいます。
- ③花の合間にふんわりとアストランティアをあしらひ、最後にクレマチスシードをポイントに入れば出来上がり!

アッシュカラーが独特の存在感

中国東部原産のキク科カリステフス属(美しい王冠の意味)の花。夏場でも花持ちが良いことに加え、ディスパッドマムやダリアの迫力を持った個性的なアッシュカラーの大輪種(マッシュ、シャギー)の登場で、アスターも新境地へ。他に類を見ない雰囲気の魅力、従来品種の仏花用途からデザイン幅が広がっています。

China Aster //



使っている花 ● アスター(マッシュラベンダー)、デルフィニウム(トリックブルー)、アストランティア(マイヨール)、クレマチスシード、ユーカリ